



片桐勝彦の

# バイレ フラメンコ

Acompañamiento del baile

著者プロフィール：日本を代表するフラメンコギタリスト。幼少の頃よりヴァイオリンを始め、その後ギターを独習。A-JARIやチリクマルカ等のグループ活動を経て、明治大学在学中にフラメンコギターを始める。98年から長期渡西。マドリードのタブラオ「カサ・パタス」やセビージャのラジオ番組などに出演。帰国後はカニサレスとの共演やNHK「音楽のある街で」出演。主な参加CD・DVD：風回廊（渡辺えり）、天国を見た男（沢田研二）、Boy（coba）他。Estudio ROMERO主宰。

VOL.13

## Guajiras

～はじめに～ 今月からキューバ起源の明るい曲、グアヒーラを取り上げます。その成立過程、音楽的特徴、レトラの構造を知ること、踊り（または踊りの伴奏・伴唱）がより豊かになると思います。

### ida y vuelta

コロンブスによる新大陸発見(1492年)以降、スペインは中南米、西アフリカ、さらにはフィリピンなどにも広大な植民地を領有しました。豊富な金銀の他、砂糖やタバコ、コーヒーといった嗜好品などもスペインに運ばれる中、逆にスペインの文化全般も中南米にもたらされます。そしてそれらの文化は長い歴史の中で現地で独自に発展を遂げて、また再びスペインに持ち帰られました。もちろん音楽も然りです。このように現地の音楽に影響を受けた後、スペインへ里帰りしてフラメンコ化した曲は総じてCante de ida y vuelta(カンテ・デ・イダ・イ・ブエルタ)とされています。ida(行き)y(と)vuelta(帰り)、つまり往復と言う意味を持つこの曲種は、グアヒーラ、ミロンガ、ビダリータ、ルンバなどが代表的です。

新大陸発見後の長い間、入植者の多くは大規模農園などの統治者として暮らしていましたが、中にはスペイン人でも労働階級の人々もいました。中米のキューバでは、その多くはグアヒーロ(guajiro)と呼ばれた現地の白人(スペイン人)農民のことを指します。そして女性形のグアヒーラ(guajira)とは、キューバの白人系農民の民謡ということになります。スペインはその後300年間以上中南米に植民地を維持していましたが、19世紀初めまでにキューバとプエルトリコを残して全て独立。さらに1898年の米西戦争でそのキューバとプエルトリコ、さらにはフィリピンまでも失って、中南米統治時代が終わります。その際に多くのスペイン人が本国に引き揚げて行きました。

#### 1492年

スペインの歴史の中で1492年は特に大切な年です。カスティーリャ王国とアラゴン王国の合併によって成立したスペイン王国は、1492年にイスラム教国最後の拠点であったグラナダを陥落させてレコンキスタを完了させます。そして同年ユダヤ教徒追放令を発し、さらにはスペインの命を受けたコロンブスが新大陸を発見します。ヒターノがスペインへ入ってきたのもこのぐらいの時期からだと言われています。レコンキスタ以前から存在したフラメンコの根本である「ミの旋法」や「12拍子」は、イスラムやユダヤの人たちが名目上いなくなったことによって、ヒターノたちがその担い手になってフラメンコがさらに発展して行ったと考えられます。

## グアヒーラ

ida y vuelta の曲種の中でも特に有名なのがグアヒーラです。先述の通り、もともとはキューバのスペイン人系農民の民謡だった、グアヒーラやプント・クバーノがフラメンコ化して出来ました。1898年の米西戦争の頃はスペイン本国では<sup>\*1</sup>カフェ・カンタンテの時代から<sup>\*2</sup>カンテ・ボニートの時代へ変わる頃、まさにこの優雅かつ粋で明るい曲調が好まれたのもうなずけます。その後、闘牛場や大劇場での<sup>\*3</sup>フラメンコ・オペラの人気も伴って、1930年頃にはペペ・マルチェーナの歌唱で大流行しました。それから少しして踊りも踊られるようになりました。アバニコ(扇子)片手に女性が優雅に踊ることが多いですが、最近ではファルキートやファルーなどの男性舞踊手が力強くリズムカルに踊るケースも増えてきています。

※1カフェ・カンタンテ：1860年～1910年頃。フラメンコの実演をやるお店。この時代にフラメンコの職業化が進み、フラメンコが発展した。

※2カンテ・ボニート：1915年～1955年頃。ラジオや蓄音機の普及に伴って、流行歌風の歌い方がもてはやされた時代。

※3フラメンコ・オペラ：1920年～1936年もしくは1950年代頃。スペイン各地の闘牛場や大劇場で頻繁に行われたフラメンコのショー。



abanico(アバニコ)

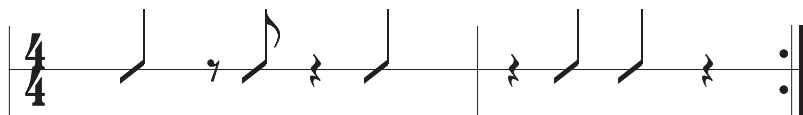
### ワンポイント→唄

グアヒーラの名カンタオール  
Juan Breva(1844 - 1918)  
Pepa Marchena(1903 - 1976)  
Juanito Valderrama(1916 - 2004)

### コラム

グアヒーラその他、キューバの音楽やダンスには、ソン、ルンバ、マンボ、チャチャチャ、サルサなどたくさんの形式があります。グアヒーラ(プントやカンペシーノなども)が山岳地帯の主に白人系農民たちから生まれたのに対し、ソンは南東部の港町サンティアゴ・デ・クーバ、そしてキューバのルンバはアフリカ系奴隷の人たちから生まれました。世界的に有名なグアヒーラ・グアンタナメラも、もちろんキューバの曲です。

#### ソンのリズム(ソン・クラーベ)



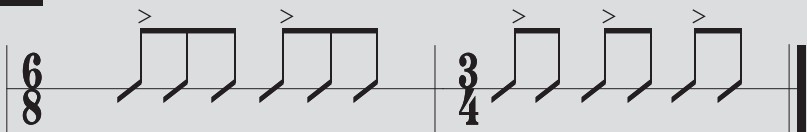
音源は片桐勝彦HPで聴けます！ URL <http://www.toshima.ne.jp/~kata/katsu>  
同内容のパルマクラス、スタジオロメロで開催中。4月6、20日、20:40～終電ぐらいまで

## 音楽的特徴

### リズム

グアヒーラのリズムは、1コンパスが12拍で、8分の6拍子と4分の3拍子の混合拍子。1・4・7・9・11拍目にアクセントがあります。頭(1拍目)にアクセントがあるので、便宜上12からカウントすることも多いです。このコンパスはペテネーラも同じです。

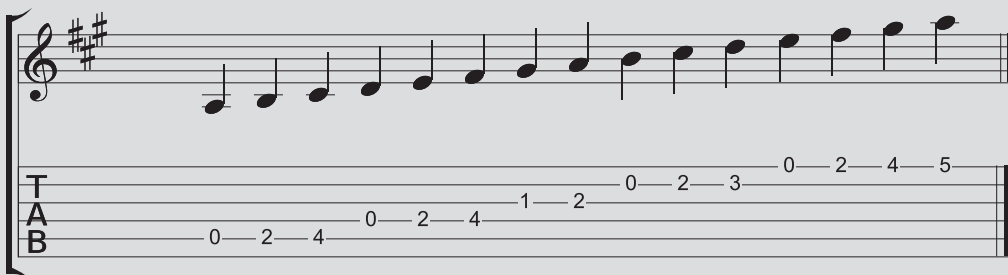
### 譜例1



### 音階

長調で全体的に明るい雰囲気です。主にAメジャー(イ長調)で演奏されます。2弦の2フレットを人差し指で押さえると楽にポジション移動が出来ます。

### 譜例2



### ギターの弾き方

歌振り部分もエスコビージャ部分も、基本はE7-Aの進行です。

### 譜例3

♩ = 70

### ワンポイント→ギター

語るように唄うグアヒーラの伴奏は、呼吸や音感が大切になってきます。名手の伴奏の仕方をしっかりと参考にしてください。ラモン・モントージャ(ファン・ブレバの伴奏)、ミゲル・ボルール(マヌエル・エスカセナの伴奏)、ニーニョ・デ・プーラ(ファニート・バルデラマの伴奏)など。

## レトラ

フラメンコでは珍しいデシマ (decima) と呼ばれる10行のコブラで構成されています(1行は8音節)。踊伴唱の場合は10行をまるまるすべて唄わずに途中で切ってしまう、最初の4行ないし6行だけに省略してしまうこともあります。よくある唄い方は、①-レマーテ-②-③-④-⑤-⑥。1行を1コンパスで唄う場合はレマーテも入れると全部で7コンパスになります。しかし実際のグアヒーラは語るように唄うので、かっちりとコンパス数が決まる方が珍しいです。振り付け通り踊る場合は、上記の7コンパスを基本にして、それより長く踊りたい時だけ歌い手に何コンパス長くなるのかを伝え、分かりやすいかもしれません。

- |                               |                |
|-------------------------------|----------------|
| ① Me gusta por la mañana      | 朝から好きなことがある    |
| ② después del café bebí       | コーヒーを飲んだあとに    |
| ③ pasearme por la Habana      | ハバナを散歩する       |
| ④ con mi cigarro encendí      | 葉巻に火を付けてね      |
| ⑤ y comprarme un papelón      | そして新聞を買う       |
| ⑥ de eso que llaman Diario    | ディアリオと呼ばれてるのを  |
| ⑦ luego me siento en mi silla | その後自分の椅子に腰を下ろす |
| ⑧ en mi silla, silletón       | シジェットンと呼ばれる椅子  |
| ⑨ que parezco millonario,     | 富豪に見えるでしょ      |
| ⑩ de esos de la población.    | そう、この街の金持ちに    |

上記の歌詞は1・3行目と2・4行目の語尾の韻が揃っています。カルロス・サウラの映画「フラメンコ」の中でペペ・デルシアも上記の歌詞を唄っていますが、5行目以降を少し変えて、6・7・10行目と8・9行目をさらに韻を踏んで唄っています。

- |                             |                        |
|-----------------------------|------------------------|
| ⑤ y sentarme muy tranquilo  | そして落ち着いて腰を下ろす          |
| ⑥ en mi silla o mi sillón   | 自分の椅子、もしくはシジョンと呼ばれる椅子に |
| ⑦ y comprarme un papelón    | そして新聞を買う               |
| ⑧ de esos que llaman Diario | ディアリオと呼ばれてるのを          |
| ⑨ y parezco un millonario   | 富豪に見えるでしょ              |
| ⑩ rico de la población.     | そう、この街の金持ちに            |

Pepe de Lucía

### ワンポイント→踊り

グアヒーラは上記以外で、Contigo me caso indiana で始まる歌詞も頻繁に唄われます。そのどちらも首都ハバナや女性たちのこと、果物のことを優雅に唄いあげています。しかし1898年の敗戦のことやロルカの詩(河が血で染まる～などの詩)をグアヒーラで唄うこともありますので、歌詞の内容にも気を配って踊るようにしてください。

来月から、シギリージャ系の曲種を取り上げます。お楽しみに。